

硬質アルミ箔・PTP包装用ヒートシール剤（トルエンタイプ）

ヒートシールワニス PPXシリーズ

ヒートシールワニス PPX シリーズは、PPシート構成の医薬品包装(PTP包装)用途を目的として開発した、ディスペーション(分散)タイプのヒートシール剤です。専用下地インキ「PPZ-C シリーズ」との併用により、低温シール性に優れ、高いシール強度を発揮します。

■ ヒートシールワニス PPX シリーズ 各タイプ

- ヒートシールワニス PPX-16（不揮発分:15±2%， 一般タイプ）
- ヒートシールワニス PPX-17（不揮発分:17±2%， シール強度調整タイプ）
- ヒートシールワニス PPX-20（不揮発分:17±2%， PPX-16 の高揮発分タイプ）

■ 特徴

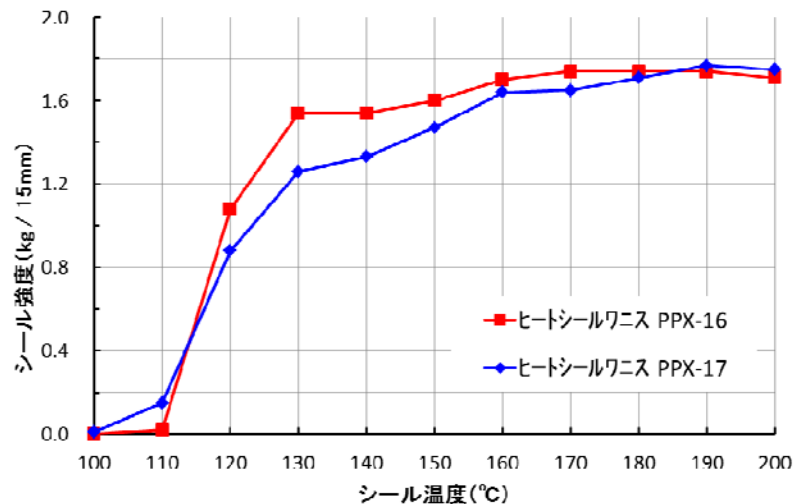
- 塗工膜の焼付けによって、主体成分がアルミ箔に融着し、被着体のCPPシートとの優れたシール強度を発揮します。
- スムージングロールの使用によって、ロングランで安定したシール剤の塗工が可能です。
- PPシート構成のシール検体を 40°C×90%RH の条件下で1年間保存しても、シール強度の経時劣化はありません。

■ 適用原反

- 硬質アルミ箔

■ ヒートシール剤の使用方法

- 標準希釈溶剤：トルエン
- 推奨塗布量：3g/m²（ドライ）
- 推奨下地インキ：PPZ-C インキ
- 推奨焼付け条件：170°C×10秒
（熱風乾燥炉）



・シール構成：硬質アルミ箔(ケシ面)／PPX／CPPシート

・シール条件：ヒートシールテスター、2kg/cm² × 1秒

■ 注意事項

- 加温によって主体成分が凝集する恐れがあります。製品は屋外放置を避けて、冷暗所へ保管して下さい。
- ディスペーションタイプの為、ご使用の際には予め攪拌し、印刷中も循環ラインの併用をお願いします。
- 乾燥温度の不足により、塗膜強度が低下する恐れがありますので、冬場の乾燥条件にご注意下さい。
- 安定したシール性を付与する為、シール剤塗膜の焼き付けを行って下さい。
- 諸物性は当社試験方法に基づくもので、アルミ箔の材質、シール構成などの条件によって、貴社の必要条件に適合しないケースも考えられます。
 - ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
 - ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
 - ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。